

令和7年6月 定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和7年6月30日(月)13:30～

2 場 所 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室

3 出席者

教育長 : 河井 登志夫
委員 : 藤井 喜臣
委員 : 前田 哲雄
委員 : 谷口 なおこ
委員 : 中井 英子

〔事務局〕

副教育長：徳高 雄一郎
次長兼教育総務課長：山名 常裕
次長兼学校教育課長：浅見 康陽
次長兼総合教育センター所長：狩野 司
校区審議室長：岡部 孝志
学校保健給食課長：蔵増 彩
文化財課長：佐々木 孝文
生涯学習・スポーツ課長：浜田 哲弘
中央図書館館長：中島 泉
学校教育課参事兼指導係長：福山 暁博
学校教育課参事：平戸 由美
教育総務課長補佐：前田 英樹

〔傍聴者〕 なし

4 会議次第

行事報告及び行事予定について

〔教育総務課〕P.3

【報告事項】

- (1) 6月市議会定例会答弁要旨について 〔各課〕別冊
- (2) 鳥取市教育大綱・教育振興基本計画の策定について 〔教育総務課〕P. 5
- (3) 放棄した債権の報告について 〔学校保健給食課〕P. 8
- (4) 令和の万葉大茶会2025 飛鳥・万博大会について 〔文化財課〕P. 12
- (5) 鳥取市歴史博物館常設展示（中世コーナー）の新規展示について 〔文化財課〕当日配布

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[7 月] 令和 7 年 7 月 2 8 日 (月) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 7 階 第 1 会議室

[8 月] 令和 7 年 8 月 2 5 日 (月) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 7 階 第 2 会議室

(2) 令和 7 年度 鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会・研究大会

令和 7 年 7 月 1 0 日 (木) 総会 14 : 00 研究大会 15 : 00 ホテルセントパレス倉吉

(3) 第 1 回総合教育会議 (次期教育振興基本計画などについて)

令和 7 年 8 月 2 0 日 (水) 午後もしくは 8 月 2 1 日 (木) 午前を予定

(4) 次回定例教育委員会 (7 月) 終了後の勉強会について

テーマ : チーム担任制について

※その他、勉強したいテーマがありましたら、お知らせください。

会議概要

◎行事報告及び行事予定について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

【報告事項】

(1) 6 月市議会定例会答弁要旨について

副教育長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(藤井委員)

AED は設置してから 10 年くらい経つんですかね。県議会では 10 年くらい前から話が出ていましたが、学校で実際に、練習ではなくて本番で使ったことはありますか。

(学校教育課長)

はっきりどこの学校が、というのは分かりませんが使った実績はあります。子どもで必要になったという情報は入っています。

(藤井委員)

運動場で何かあったときに、AED が学校の中にあったら使えないのではないかとということを含んだ質問なんですよね。

(副教育長)

そうですね。今後、部活動の地域移行が進んでいって、学校が必ず開いているわけではなく、学校の鍵を開けるという可能性が出た場合に対応ができないのではないかとということで、外にも AED を置きなさいという指摘だと思います。

(藤井委員)

複数でなくても、学校の壁につけるということでも良いと思います。

(学校教育課長)

外専用の BOX が必要だそうです。一番影響が出るのが温度で、外につけるとどうしても高温になります。それを防ぐための専用ボックスが必要で、今のボックスをそのまま外に持って出れば良いというものではないということまでは確認できています。

その外用のボックスが室内用に比べてかなり高価ですので、その予算面でハードルが一つあると思っています。

(藤井委員)

布勢の運動公園とかでも中に設置されてるんですかね、体育館の中か陸上競技場の中にあるのかと思います。外で設置してあるのを見たことない気がします。

(学校教育課長)

今は体育館の中というケースが一番多いですが、体育館の外の壁とかにするというのが場所的にもよいのではと思います。

(藤井委員)

それでも温度が高いんですよ。

(学校教育課長)

外用が必要だということです。

(教育長)

他に質問はよろしいでしょうか。

私からお願いですが、資料にはありませんが、議会で提案された内容について質疑というものがあります。今回、屋内運動場の空調設備の予算要求をさせていただきました。その中で3人ほど質疑を受けましたので、簡単に説明をしてもらえますか。

(教育総務課長)

今回の6月補正予算で学校体育館の空調整備を進めていく予算を上げさせていただきました。約600万円ですが検証費用ということで、1校だけ先行で実施します。先行のモデル校を浜坂小学校の体育館ということにしました。といいますのが、国が臨時特例交付金を設けまして、従来よりも補助の内容が良いものを令和15年までの期間限定で創設したので、これを機に鳥取市も取り組んでいくことで、それに関する質問がいくつか出ました。どういった整備方針でいくのか、浜坂小学校をどういった理由で選考したのかなどです。

まず、浜坂小学校を選んだ理由についてですが、この臨時特例交付金の要件に指定避難所というものがあります。鳥取市の中で指定避難所に指定されているところは13校あって浜坂小学校もその中に入っています。次に、断熱対策が施してあるという条件もありまして、鳥取市の学校の中で一番新しい学校体育館が浜坂小学校で、比較的断熱対策も取りやすく、検証にかかる期間が短くなるといったことで浜坂小学校を選んだという説明をしています。

具体的な今後の整備計画等については今回の検証をもって進めていく形になるので、今年度末に具体的な方針をお示しすることになるかと思います。おそらく断熱対策に費用が結構かかるのではないかとということが想定されていますので、その費用面を見ながら、鳥取市全体でどうやって整備を進めていくかということを今年度検証していこうとしております。教育委員の皆様におかれましても、情報提供をさせていただきたいと思います。

(教育長)

口頭での報告になりますが、ご質問等あればお願いします。

(藤井委員)

今年みたいな状況になったら、外では運動できない、プールもできない、屋内運動場も暑くて使用できないということになって、クーラーは必要ですね。断熱対策がなくても、エアコンを先つけないといけないような時代が来るかもしれませんね。今の感じだと7月になってからは屋内運動場は使えなさそうですね。

(教育総務課長)

窓を全開にしたり大きい扇風機を使ったりで対策しているようです。

今回の臨時特例交付金の趣旨がそういった児童生徒の安全確保というのもあります。避難所になっているところを優先的にやってくださいという趣旨もあり、やはり長期的な避難所生活になるときを想定してのことだと思います。全国の自治体でも東京都は90%くらいなんです。地方都市は1割もいっていないということで、国が今回交付金を用意した背景もあります。避難所機能としても使えるところを優先的にやっていながら将来的には全ての学校で何とか整備ができたらと思いますが、かなりの費用と期間がかかるだろうと考えています。なので、交付金を活用してどこまでできるかというのを今年度検証したいと思っていますところですよ。

(藤井委員)

梅雨明けが毎年この時期になるとは思いたくないですね。本当にこの時期何もできなくなってしまいますね。

(前田委員)

県立の高校はどういう状況なのでしょう。あるのであれば、そこを避難場所として考えてもらったらと思いますが。

(教育総務課長)

全体は把握できておりませんが、私立は入っているところもあったかと思います。避難所という側面でいったら市民体育館とかは入っています。周辺施設にあるかないかを調べながら、バランスよく配置できるのが理想です。

(前田委員)

青谷高校につくなら青谷小学校にはつけなくても、青谷高校の体育館に避難したらと思います。全部につけるのはなかなか難しいので、県立とうまくやっていけたらいいですね。

(藤井委員)

県立高校もまだ体育館には入っていないと思います。私学では城北が入っているのでしょうか。青翔開智も新しいから入れているかもしれませんが。敬愛高校は来年度入れないといけないのではという話になっています。

(谷口委員)

子どもたちの夏場の運動について、保護者からの意見の1つとして、体育館に空調設備をつけるのが高額で時間もかかるのであれば、空き教室にはエアコンがついているので、そこに運動するような何かを取り付けてもらって運動できるようにするのはどうかという意見が出ていました。もうほとんど教室にはエアコンついてますよね。そういう方向性も有りなのではと思います。

(藤井委員)

高校でも運動機器が入っているところもありますよね。レベルは色々ですが。小中学校でトランポリンとか、できそうなものがあればいいですね。体育の授業でトランポリンをするかどうかは分かりませんが。

(前田委員)

遊具は法律がすごく厳しいですよ。勝手に作って事故があれば責任問題とか、すごく難しい状況もありますよね。

(副教育長)

学校によっては空き教室にクーラーがついているところは結構あると思います。活用の仕方だと思います。

(2) 鳥取市教育大綱・教育振興基本計画の策定について

教育総務課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(藤井委員)

教育振興基本計画を作って大綱を作らないという理解でいいですか。

(教育総務課長)

はい、そういうことです。

(藤井委員)

前回の分を踏襲しているのだと思いますが、家庭教育関係で、小学校のPTA連合会がなぜないのか、学校運営協議会等学校の在り方を考えるような会の代表が入っていてもいいのではないかと感じました。それは公民館の連合会とかで代えているのかもしれないかもしれませんが。それから私立の中学校がありますが、鳥取市の教育大綱の外ではないような気がします。有識者だと大学の先生を選んでいるのだと思いますが、高校関係、中高一貫やフリースクールなどそういった方は入っていないのでしょうか。どういった感じでしょうか。

(教育総務課長)

前回と同じ枠で選出したというのが正直なところです。PTAについても小中を代表して中学校の方が出ました。

(藤井委員)

小中学校を代表して中学校といいながら、校長会は小学校も中学校もありますね。小学校のPTAと中学校のPTAだと観点が違うような気がします。

(教育総務課長)

なるべく小学校のPTAからも意見を吸い上げられるように考えていきたいです。有識者のところでは大学の教授にお願いをしています。私立の学校や中高一貫あたりの方は今回入っていないので、そういったところからの意見聴取も何か工夫をしてみたいと思います。予算の枠があるので、増やしていくのは難しいところです。

(藤井委員)

報償費ですね。

(教育総務課長)

はい、報償費の上限がありますが、そういった視点からの意見も聞けるように考えていけないといけないと思います。

(藤井委員)

今、不登校が増えている状況で受け皿になっているフリースクールからの意見などもっと広げていけないといけないのではと思います。

(教育総務課長)

今回選出する中で、いくつか変えてみたいところもあったのですが、最終的にはこれで落ち着きました。GIGA スクール等もあるので、デジタルを活用した教育の視点から専門的な人も必要なのか等感じました。前回の枠組みから増やせるところに限界があったので、何かしら新たなところに意見聴取ができるような仕組みを考えたいと思います。外部委員会の設置要綱に、必要と認めるときには関係職員に出席してもらって意見を聞くことができるという項目もあります。そういったところで、検討する段階で必要に応じて、関係者の声も聴けるようにしてみたいと思います。

(藤井委員)

ぜひ、お願いします。

(中井委員)

大綱を作らずに計画だけということだと思いますが、内容についてはもうすでに検討が始まっているのでしょうか。

(教育総務課長)

今まさに教育委員会内部で骨子を詰めているところです。骨子というのは理念や、学校教育、社会教育や文化財など色々な項目の目標になるところが示されているものです。8月に総合教育会議を行うので、そこで示せるように進めていきたいと考えています。その前段で外部委員会にそれをお諮りして、ご意見をいただこうかと思うので、外部委員会での意見を踏まえたものが教育委員さんにお示しできる段階になります。

(中井委員)

最近感じたことですが、今 AI の活用を教育現場でどういうふうにしていくか、今後さらに問題になっていくのではないかと考えています。あまり早い段階から使うのはどうかと個人的には思いますが、ではいつから使うか、教育現場で教える側がどの程度使っているのか、子どもたちがどういう風に使うかという指導についてなど、教育委員会として示すかどうか話し合っておいた方がいいのではないかと考えています。示さないのも1つですし、示すのであればどういうことを盛り込んでいくのかということを検討した方がいいのではないのでしょうか。

最近の大学では、そういったものを一切使ってはいけないところもあれば、必ず使わないといけないところもあるそうです。教授ごとか学校ごとかは分かりませんが、大学では明確に方針が出されています。個人的には高校生では、AI についてまったく

知らないというのはまずいのではないかと思います。そうなった場合、小中学校でどの程度リテラシーや活用の仕方を教えるべきなのか、使用はしないということで終わらせていいのか、鳥取市の教育委員会の中で話をしていただいた方がいいのではと思っています。内容について検討の段階なら、盛り込むかどうか考えてみてはどうでしょうか。

また、昨年の総合教育委員会のときに言わせていただいた校区再編のことも次の基本計画には入れていけないのではないかと思います。そのあたりも、検討段階なら盛り込んでいただけたらと。市全体の整備計画と関わってくることだと思うので、広い視野で考えていただくのがいいのかと思いました。

(教育総務課長)

現在の市の教育振興基本計画の中にも、GIGA スクールや、学校の適正化、学校の在り方について検討を進めるというものはあります。当時、令和3年に策定したときから状況も変わって来ているので、時勢を踏まえた推進の仕方というのを盛り込んでいかなければと思いますので、しっかり検討していきます。

(前田委員)

AI の活用が良いかどうかは、今と5年後とではずいぶん捉え方が変わるでしょうし、最初は良くないのではないかという流れだったが今ではうちの生徒もけっこう使っています。避けて通れるはずがないという感覚の先生も多いです。将来の鳥取市のことを考えたら具体的なことを出すのもかえって首を絞めてしまうような気がします。

先ほど教育総務課長から国の第4期の2本柱の話がありましたが、ウェルビーイングや公共の精神、共生社会などということ抜きに学問が成り立たなくなってきたようです。藤井委員が言われたような立場の方々というのも、共生だとかを考えていく上では、色んな立場の人の考えを入れて基本計画を考えた方が筋が通るんだろうなと思いながら聞きました。

基本的なことですが、平成26年に通知が出てから必須だったものが、どちらでもよくなったということですよね。

(教育総務課長)

それまでは必ず2つ作らないといけないという認識で作っていました。内容としては、実際は教育振興基本計画の前段のところにも、教育大綱の内容が書かれています。通知が出る前は、教育プランという名前で一本化したものを作っている自治体もあり、グレーな状態でした。通知で文科省が認識を示して可能になりました。それ以降一本化で出しているところが増えていきます。

(前田委員)

それの方が分かりやすいのかもしれないですね。

国の計画が3期から4期になったときに何かずいぶん変わったと感じました。すごく現代的になったなど。一番そう感じたのが、「志」という言葉が3期のときにはあったんですが3期だけで消えてしまって、今はこういう形になっています。鳥取市の場合は国よりも先だって「志」という言葉がずっとあります。そのあたりも慎重に議論されるだろうと思っています。

- (3) 放棄した債権の報告について
学校保健給食課長（資料に基づき説明する。）
- (4) 令和の万葉大茶会2025 飛鳥・万博大会について
文化財課長（資料に基づき説明する。）
- (5) 鳥取市歴史博物館常設展示（中世コーナー）の新規展示について
文化財課長（資料に基づき説明する。）

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について
 - [7月] 令和7年7月28日（月）13：30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第1会議室
 - [8月] 令和7年8月25日（月）13：30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室
- (2) 令和7年度 鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会・研究大会
令和7年7月10日（木）総会 14：00 研究大会 15：00 ホテルセントパレス倉吉
- (3) 第1回総合教育会議（次期教育振興基本計画などについて）
令和7年8月20日（水）午後もしくは8月21日（木）午前を予定
- (4) 次回定例教育委員会（7月）終了後の勉強会について

閉会 14：40